

ウクライナに平和を！日本は核兵器禁止条約を批准せよ！

被爆 78 年 被爆者と二世が語る 被爆の証言と原爆展

今年 5 月 19 日～21 日から広島で G7 サミット（主要国首脳会議）が開催されました。核兵器禁止の明確な方針が打ち出されることを期待した私たちは見事裏切られました。ウクライナに侵略を開始したロシアは核兵器の使用をちらつかせるなど、核兵器が使わ



れるかもしれない危険はいまだなくなっていないのです。78 年前の 8 月 6 日広島、8 月 9 日長崎で私たちは人類史上はじめて戦争による核兵器の惨禍を被り広島、長崎 2 つの都市が夫々一発の核兵器によって消滅する程の体験をしました。かろうじて生きながらえた人々も放射能による様々な障害に悩まされてきました。再び核兵器が使われることのないように、そして核兵器のない世界が実現することを願って、私たちは被爆の体験を語ります。

とき：7 月 20 日（木）21 日（金）9 時～16 時 ところ：北海道庁 1 階ロビー 入場無料
札幌市中央区北 3 条西 6 丁目 後援：北海道（予定）

被爆者・2 世の証言（それぞれ 20～30 分を予定）10 時半～12 時半～14 時～15 時～

20 日 松田ひとえさん（二世）弟の死を契機に語り始める。平和への思いをシャンソンにのせて。

宮本須美子さん 死臭漂う長崎の街中を逃避行。原爆は今も私たちに苦しめる。

松本郁子さん かろうじて命は助かったが……。被爆を抱いて生きたその後の人生を語る。

溪口正裕さん（二世）子どもたちに原爆をどう伝えるか、小学校教師として試行錯誤する。

21 日 土谷節子さん（二世）母の被爆体験と二世としての私の思い。

大村一夫さん きのか雲の下で何が起きていたのか、少年の目に刻まれた鮮烈な光景。

金子廣子さん 原爆に翻弄された家族と自分の人生を「福島」を契機に語り始める。

大谷 博さん（二世）母の広島被爆体験を伝えること、それは私の使命だ……。

◎ 日本被団協制作国連原爆展パネル（100×76）数点と

◎ 札幌南高校定時制 1 学年制作原爆ドームのモザイク画（320×258）上の写真もあります。

原爆パネルの展示 ※被爆者が描いた「原爆の絵」、いわさきちひろ「戦火の中の子供たち」も展示
被爆の惨状を物語る数々の遺品・資料、図書、の展示、DVD（越智晴子さんの証言他）の上映

主催：北海道被爆者協会 札幌市白石区平和通 17 丁目北 6 - 7 TEL/FAX 011-866-9545

共催：被爆二世プラスの会北海道

北海道ノーモア・ヒバクシャ会館内